

まい・めぐ・けんたのドキドキホームステイ ～家電製品からみた日米の衣食住～

広島大学附属三原小学校 朝倉 淳
島根県松江市立城北小学校 鈴木 理生
島根県松江市立第二中学校 高橋 和美

私たちは、この教材を日米の小学校高学年児童を対象にした国際理解教育のための授業に活用されることを目的に作成しました。この教材は衣食住の三つの面から日米の家庭生活の様子をとらえ、その背景を考えようとするものです。私たちは、衣食住にかかわる家庭電化製品（以下、家電製品）に着目し、それらの家庭での使われ方や大きさ、機能、デザインなどを糸口に家庭生活の様子やその背景にあるものの見方、考え方、文化をさぐろうとしました。児童にとって大事なことは他の国と生活様式を比較してみたときに相違点だけでなく類似点もあるということを理解することです。そのことを理解することによって、児童は国際社会に生きていることを知り、世界中に共通したことがあること、自分も国際社会の一員であることを実感することができます。また、自分たちの文化の独自性についてもそれを再発見し評価することができます。

日本での学習用の教材づくりにあたり、私たちは日本での家電製品の使われ方と家庭生活の様子について調べ、アメリカ合衆国での家電製品の使われ方、家庭生活の様子についていくつかの仮説を立てました。そして、アメリカ合衆国のノースカロライナ州、ミネソタ州で主に聞き取り、家電製品の観察・使用、広告・パンフ・カタログ等の資料収集などの方法で現地調査を行いました。聞き取りにあたっては、あらかじめ質問を用意し質問紙をつくって活用しました。質問の項目は、家庭での使用の様子（使う人、使い方、使う頻度・時間、家庭生活への影響など）や日本とアメリカ合衆国の家電製品が違う理由などです。店や家庭にある家電製品の観察やパンフレット・カタログからは、外見（大きさ、形、色、重さ）・付属機能・価格・信頼性耐久性・使用目的などを調査しました。

教材では、現地調査の結果やその他の資料をもとに、日本の3人の小学生がアメリカ合衆国の家庭にホームステイする場面を設定しました。3人がホームステイ先の家庭で出合ういろいろなできごとに合わせて衣食住の内容を再構成しています。教材は、1～3部では見開きのページをそのまま印刷してワークシートとして使えるように工夫しています。また、4部には補助資料として1～3部の設問についての解説と関連する資料を載せています。

教材の活用にあたっては、ワークシートへの自由な書き込みをもとに感じたことや予想したこと考えたことを話し合ってみるとおもしろいと思います。その際、単に違いを見つけるだけでなく同じところを見つけたり、その背景を考えたりすることが大切です。4部の資料を合わせてご活用ください。なお、教材の事例は調査結果をもとに児童が考えやすいようにモデルとして作った例です。この事例をアメリカ合衆国の家庭一般としてとらえるのではなく、考えたり話し合ったりして自分の生活を見つめる素材として扱われますようご留意ください。

まいちゃんのドキドキ ホームステイ (1部)

まいちゃんのホームステイ先はホートンさんの家です。家をおとずれてまず目に入ったのがこの光景。お父さんが庭で何かをしています。

<a 何をしているのでしょうか?>



ホートンさんの家



まいちゃんの家

<b 左の写真を見てアメリカの家と日本の家を比べてみましょう。>

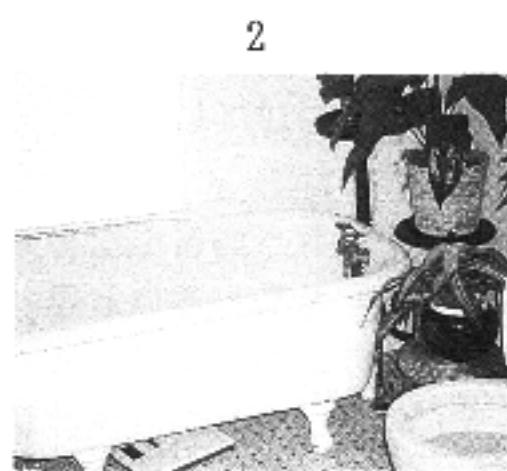
いよいよ中に入ります。ワクワク。あなたが思っているアメリカの家ってどんな家?

<c 日本ではどういう場所、何という部屋になるかな?>



(

1



)

2



)

3

最後にローレンちゃんは自分の部屋に案内してくれました。

まい：きれいな部屋ねー。

ローレン：ありがとう。一週間に一度は掃除するの。

まい：自分でするの？

ローレン：ええ、掃除機をかけるの。簡単よ。あなたは？

まい：……。いつから自分で掃除するようになったの？

ローレン：そうね。5歳くらいかなー。

まい：へえー。えらいわね。じゃあ、今週はわたしが掃除をしてあげる。掃除機を見せて。

ローレン：オーケー。

ローレン：これが掃除機よ。

まい：大きいわね。貸して。うわっ、どうしてこんなに重いの？ 日本のはもっと軽くて小さくて小回りがきくのに……。



<e この疑問に答えてみましょう。どうしてだと思いますか?>

ローレン：じゃ、お願ひね。ついでにいいこと教えてあげる。リビングの掃除もすると1ドルもらえるわよ。うちは両親とも働いているでしょ。だから普段はクリーニングサービスをしてもらっているの。でも、夏休み中はわたしの仕事。ほかにもいろいろなお手伝いをしているのよ。たまには夕食もつくるわ。電気製品を使うから簡単よ。

まい：へえー。

<f まいちゃんになったつもりで感想を書きましょう。>



これから、めぐちゃんはホームステイ先で、初めての食事です。

「日本では『いただきます』と言うけれど、アメリカではだまって食べていいのかな……。あら、手を合わせて何か言ってるわ。」

<a 子どもたちは何をしているのだと思いますか?>



いよいよ家族4人といっしょに夕食です。

「今日の夕食は、パン、肉、サラダ、それにご飯も皿にのっています。でもご飯は、日本のと少し違うみたい。バサバサしておはしでは食べにくそう。」

「ごちそうさま。おなかいっぱいになっちゃった。と思ったらデザートに手作りのケーキがでてきたわ。それにしても、わたしこんなに食べられるかしら。」

さて食事をつくるのは台所ですね。

アメリカの家の台所ってどんな様子でしょう。

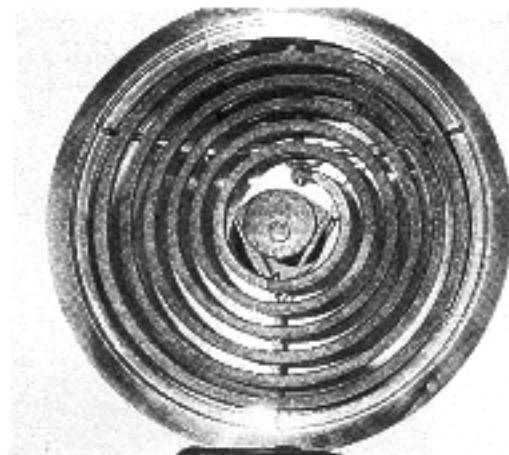


台所の様子を見ると日本と違うところがいろいろあります。写真はアメリカの家庭の台所にある家庭電化製品です。

<b さて、何だと思いますか？（ ）のなかに書きましょう。また、気がついたことを書きましょう。>



()



()



()

台所を見ためぐちゃんは分からぬことがいろいろでてきました。

<c あなたは、どう思いますか？>

- (1) 電気コンロは電気代がかかると思うけどどうなのかな？
- (2) あんなに大きい冷蔵庫がいるのかな？ 何を入れておくのだろう？
- (3) あのオーブンで何をつくるのかな？

自分なりに予想して調べてみましょう。

(1)

(2)

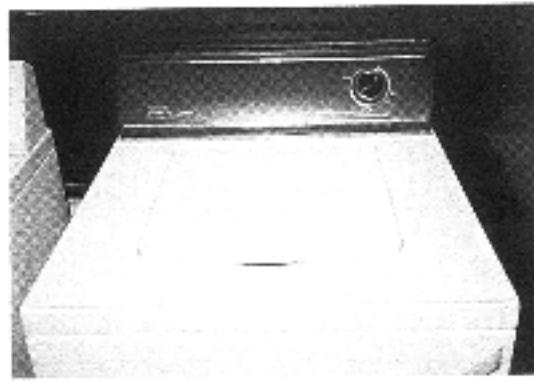
(3)

けんた君は、ホームステイ2日目をむかえました。

「アメリカの家庭生活にもすこし慣れたように思うけど、さてよ。洗濯物はどうすればいいのかな。」

けんた君は、ホームステイ先の同じ年のハリソン君に洗濯機のあるところに案内されました。

「あれっ？ 日本と少しちがうところがあるぞ。」



<a けんた君はどんなちがいを見つけたと思いますか？ また、どうしてそんなちがいがあるのだと思いますか？>

ハリソン：洗濯物はこのかごに出しておいてね。洗濯は父が月曜日と木曜日にするから。
けんた：週に2回ね。洗濯は全部お父さん？

ハリソン：うん。うちは、父が家の事務所で仕事をして母が病院に勤めているので、洗濯は父の役割なんだ。

<b あなたの家では、だれが、いつ、洗濯をしていますか？>

けんた：洗濯したものはどうやって乾かすの？

ハリソン：乾燥機だよ。1時間くらいで乾いちゃうよ。

けんた：晴れた日でも？

ハリソン：うん。ほとんどの家では洗濯したものは外に干さないよ。天気がよくても乾燥機。

けんた：ふーん。どうして？ ぼくの家では晴れた日は外に干すよ。

ハリソン：どうしてって…………どうして外に干すの？

けんた：どうしてって…………雨の日は乾燥機だけど……。

<c 何だか話がややこしくなってきましたね。それぞれどうしてなのでしょうか？

あなたはどう思いますか？>

晴れた日は外に干すわけ

晴れた日でも乾燥機を使うわけ

どうやら、話はついたようです。洗濯がすんだらタンス行き、と思ったら日本のようなタンスが見あたりません。

ハリソン：服はここだよ。このクローゼットの中。これぜーんぶ、母の服。くつはその上。



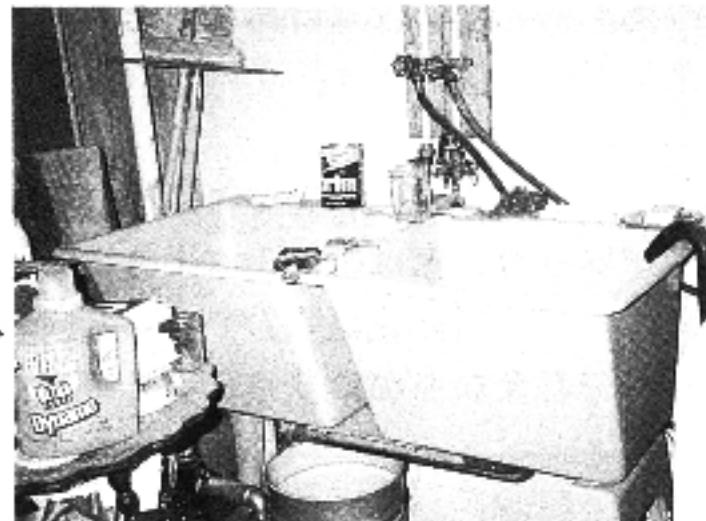
けんた：うわーっ。すごいドレス。これも洗濯したの。

ハリソン：もちろん、そういうのはクリーニングさ。父のスーツなんかもね。君の家ではどうするの？

けんた：同じだね。

けんた君のホームステイは、ビックリとハテナの連続です。

<d 地下室にあるこれはいったい何でしょう？>



4部 補助資料

まいちゃんのドキドキホームステイ

<a 何をしているのでしょうか?>

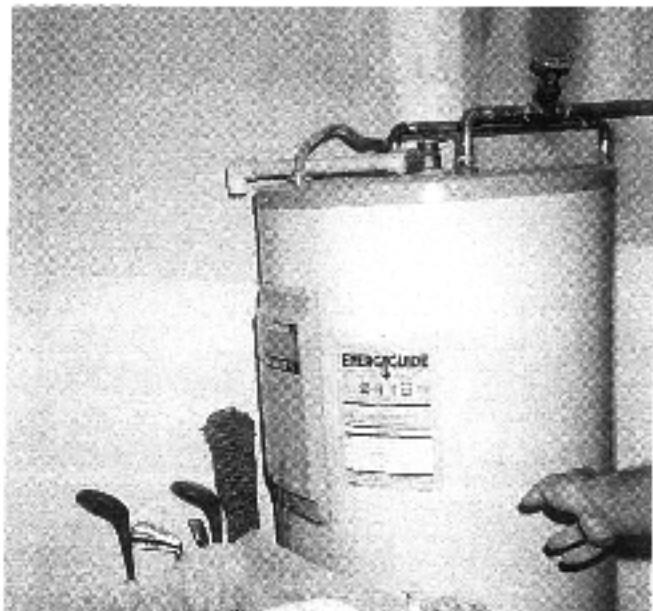
写真は芝刈りをしているところです。庭が広いので乗用式の芝刈り機をもっている家庭が多くあります。このほかにウィードイーター（草刈り機）、リーフブローアー（刈った草や落葉をとばすもの）などもあります。

<b 左の写真を見てアメリカの家の庭と日本の家の庭を比べてみましょう。>

アメリカの家は広い庭をもっているところが多いです。庭には芝が敷きつめられています。また、敷地を囲む塀がないところがほとんどです。

<c 日本の家と違うと思うところをあげてみましょう。>

よく知られているように靴のまま入ります。家の中では楽な履物に履きかえたり、素足になったりする家庭もあります。ほとんどの家ではセントラルヒーティングの冷暖房が完備しています。それぞれの家でインテリアを工夫し個性を出しています。



<d 日本では、どういう場所、何という部屋になるかな?>

- 1(台所) 2(風呂場) 3(食堂)

もちろん畳の部屋はありません。また、風呂場とトイレが同じ場所にある家が多いところも日本と違います。

<e この疑問に答えてみましょう。どうしてだと思いますか?>

アメリカの家は靴で入るようにできているので、砂や土もあがりやすくなっています。そのため、掃除機は強力でないと吸い込めません。また、掃除機も他の家電製品と同様に小型で軽量なものよりも、大きくてがっしりとしたものが人気があるようです。

めぐちゃんのドキドキホームステイ

<a 子どもたちは何をしているのだと思いますか?>

お祈りをしているところです。こんな言葉を言っています。

God is good. God is great. Let us thank him for our food.

By his hands we are fed. Give us lord our dairy bread. Amen.

<b さて、何だと思いますか? () のなかに書きましょう。また、気がついたことを書きましょう。>

①(オーブン) ②(電気コンロ) ③(冷蔵庫)

「台所にある電化製品で一番必要なものは?」という問い合わせに対して、日本では炊飯器という回答が多いです。アメリカではオーブンという回答が一番です。

コンロについてはガス、電気が半々くらい普及しています。コンロ台が4つのものが主流です。ガスに慣れている私たちが電気コンロを使うと、炎が見えないので火加減がむづかしかったです。

<c あなたは、どう思いますか?>

(1) 電気コンロは電気代がかかると思うけどどうなのかな?

公共料金の内外価格差

	日本	米	英	独	仏
電気(280kW h 使用時月額)	100	77.7	61.8	99.1	75.4
ガス(55万 kcal 使用時月額)	100	48.5	31.5	80.3	56.3
郵便(国内封書1通当たり) (国内はがき1通当たり)	100 100	52.0 51.5	67.3 101.8	108.5 131.2	88.7 134.1
電話(昼間3分間通話料金) 区域内 40km程度 100km程度 500km程度	100 100 100 100	103 140 109 51	240 67 80 36	150 77 174 77	139 93 139 77
鉄道(100km)	100	65.4	95.7	67.8	93.8
バス(1ゾーンまたは均一料金)	100	77.2	74.2	119.6	70.9
タクシー(昼間5km、1名、荷物なし)	100	47.6	56.6	69.5	41.5
米(精米10kg、消費者価格)	100	48.1	47.2	46.9	38.6

<注> 93年11月時点。換算為替レートは93年平均。料金体系、サービス内容、補助金・税制などの違いがあるため、単純な比較は難しい。

右の表は 朝日新聞1994年
9月30日付紙面より
「物価レポート」
経済企画庁

(2) あんなに大きい冷蔵庫がいるのかな?

何を入れておくのだろう?

右の写真をご覧ください。いろいろなものが入っています。買物は週に1、2回、スーパー・マーケットでまとめ買いをする家庭が多いようです。

(3) あのオーブンで何をつくるのかな?

ケーキやクッキーを焼いたり、鳥を焼いたりグラタンをつくったりします。



けんた君のドキドキホームステイ

＜a けんた君はどんなちがいを見つけたと思いますか？また、どうしてそんなちがいがあるのだと思いますか？＞

すぐ気がつくことは乾燥機が洗濯機の上ではなく横にあるということです。スペースがあるのでから別に上に置く必要はないわけです。スイッチ板はダイヤル式がほとんどです。コンピューター制御のボタン式は電気店の店頭にもほとんどありません。ダイヤル式が人気がある理由は操作が簡単で故障しにくいことのようです。電気店の店員さんは「説明書を読まないと使えないような家電製品は売れません。」とも話していました。洗濯機も乾燥機もプラスチックではなく金属を多く使い、大きくてがっちりできています。家庭で10年以上使用されているものを見るのもめずらしくはありません。

＜b あなたの家では、だれが、いつ、洗濯をしていますか？＞

誰がいつ洗濯をするかは家庭の事情によってさまざまです。調査した例では、父親、母親、子ども、家政婦、あるいはそれが分担して行っていました。洗濯は毎日から週に2回くらいまでの回数でしています。

＜c 何だか話がややこしくなってきましたね。それぞれどうしてなのでしょうか？あなたはどう思いますか？＞

日本では、「晴れた日は外に干す」家が多いですが、その理由を尋ねると、電気代がかかる、自然がいい、殺菌消毒になるなどの回答が返ってきました。アメリカで「晴れた日でも乾燥機を使うわけ」をたずねると、外に干すと手間がかかる、時間を節約して自分のことに使うなどの回答が返ってきました。

＜d 地下室にあるこれはいったい何でしょう？＞

洗濯機が普及するまで各家庭で使われていた洗濯用の水ためです。これに水をためて手もみ洗いをしていました。日本の洗濯板のようなものも使っていたそうです。乾燥機が家庭に入るまでは、やはり洗ったものは、外に干していました。

日本とアメリカの中学生の 放課後の過ごし方の比較 ～日本とアメリカの生活の背景にあるものは？～

広島県広島市立井口台中学校 八松 泰子

岡山県倉敷市立南中学校 鍵本 芳明

岡山大学教育学部附属中学校 梶原 敏

この教材は日本とアメリカの放課後の中学生の生活を比較することによって、類似点と相違点を明らかにして、お互いのよい点を学ばせ自らの生活を改善させていくために開発したものです。

そして、この教材の学習を通して、日本とアメリカの中学生の放課後の過ごし方には多くの共通点がある一方で、それぞれの国が大切にしているものには違いがあり、それが文化や歴史的伝統からくる価値観の違いに根ざしたものであることを理解させ、国際的視野を広げさせたいと考えています。

この教材は現地での調査をもとにした教材ですが、日本・アメリカとも一部の地域での域での調査結果をもとに作成したものなのでこの結果が日本とアメリカのすべての中学生の実態を表しているとは言えません。教材として活用されるときはあくまでアメリカのノースカロライナ州エッジコム郡およびミネソタ州レッドウッド郡のミドルスクールでの現状であり、多様なアメリカ社会のすべてを表したものではないということをご承知おきください。

教材化にあたって、私たちはいくつかの仮説を立て、アメリカでの中学生（ミドルスクールの生徒）が放課後どんな生活をしているか、事前に質問紙による調査を行いました。その結果は私たちが考えていたこととはやや異なっていました。つまり、日本とアメリカのほぼ同じ年齢の中学生の放課後の生活の形態はさほど変わりませんが、自由な時間があった場合の選択の幅や内容に差があることがわかりました。現地調査ではアメリカの生徒が選択できる放課後のプログラムをできるだけ見聞きし、教材化をはかりました。また、教師・保護者や生徒自身からのインタビューを中心にして彼らの考えをできるだけ聴きました。調査人数の関係から意識や考えの部分は必ずしも普遍的なものではないと考えられる場合もありますが、アメリカの調査地点の現在（1994年8月）の結果であることをお含みいただきたいと思います。

この教材は、中学生の社会科及び、特別活動の時間などにも活用できる内容です。ワークシートへの書き込みをしながら、書いたことを発表させたり、話し合わせたりすることができ、この教材は1時間の教材として扱えるようになっていますのでモデルとして活用され、それより工夫して授業にいかしていただければと思います。その際、単純に互いのよい所ばかり強調せず、日本とアメリカにおけるそれぞれの事象の背景にあるものを考えさせることも重要な課題だと思います。終わりに若干の資料（調査結果等より作成）を添えています。「報告書」と併せてご活用ください。なお、写真、ビデオ、現地のパンフレット等が必要でしたら、ご連絡ください。

教材例

日本とアメリカの中学生の放課後の過ごし方
～日本とアメリカの生活の背景にあるものは？～

- 1 アメリカ合衆国についてあなたたちはどのような印象をもっていますか。いろいろ知っていることが多いと思います。知っていることを書いてみましょう。

- 2 いろいろあげてくれたことはそれぞれ興味や関心があると思われることですが、今日は、自分たちの生活にとって身近なことがら、毎日の生活にかかわっていることを取り上げましょう。まず、あなたは一日の生活をどんなふうに過ごしていますか。昨日、特に放課後の生活を振り返ってみてください。

昨日の放課後、特に家に帰ってからの様子を簡単に記入してみましょう。

15:00

15:00	
16:00	
17:00	
18:00	
19:00	
20:00	
21:00	
22:00	
23:00	
24:00	

16:00

17:00

18:00

19:00

20:00

21:00

22:00

23:00

24:00

()

部活動 () 部
下校時刻 ()

食事・風呂 家の手伝い
テレビを見る 遊ぶ
寝ている 宿題・自主勉強
塾(学習塾……教科)
塾(稽古ごと…ピアノなど)
その他

就寝時間がこれより遅い場合は()
のなかに時刻を記入しましょう。

3 次の表は、アメリカのボブ君とオリビィアさんの日課表です。自分たちの日課表と比べてみましょう。

	ボブ君	オリビィアさん
15:00	学校を出発（スクールバスで） ～3:45帰宅	15:00
16:00	宿題をする	16:00
17:00	宿題をする	17:00
18:00	宿題をする	18:00
18:00	トランペットの練習	親が迎えに来る→ 帰宅
19:00	食事・その他	食事・その他
19:00	フットボールの練習	4-Hに行く
19:00	フットボールの練習	4-Hに行く
20:00	フットボールの練習	宿題をする
20:00	家の手伝い	宿題をする
21:00	テレビを見る	テレビを見る
21:00	テレビを見る	テレビを見る
22:00	勉強をする	テレビを見る
22:00	勉強をする	寝る(10:00)
23:00	寝る(10:30)	
24:00		

練習

フットボール	8月～10月
バスケットボール	11月～3月
野球	3月～8月

その他

- ボイスカウトのミーティング
- 空手の練習

学校でのクラブ活動 …シーズン制

バレーボール・バスケットボール・ソフトボール
テニス・水泳・チアリーダー・バンド”など

他の活動

教会・4-H・ボーイスcouts・ガールズクラブ・コーラス・YMCA等

日本とアメリカのそれぞれの日課表を見て同じところや違うところはどこでしょうか。
気づいたところを書きましょう。

日	本	アメリカ

4 では、日本ではなくてアメリカのオリビィアさんの日課表にあった「4-H」について説明しましょう。

4-Hとは

生涯教育の一環として行っているものでもともと農業従事者の人々を対象にスタートした教育活動です。5歳から大人までいろいろな活動が用意されています。そのプログラムにはプレゼンテーション（みんなの前で何かを紹介する）・動物に関すること・花の育て方に関すること・老人の世話に関すること・飢餓や難民に関するなどあらゆる分野の活動が用意されています。

主に活動時間は学校の授業が終わってからの放課後です。それぞれの活動は月に1回くらいがふつうです。一人でいくつものプログラムを選択することができるのです。

4-HとはHEAD・HAND・HEALTH・HEARTの頭文字を取っています。アメリカ各地で活動しています。

実際の「4-H」の活動 ……参加している生徒のプレゼンテーション



馬のたてがみの手入れの方法



馬のしっぽの手入れの方法



馬のブラッシングの方法



ラボ教育のプレゼンテーション

日本の生活の中にはこのような組織はありませんが、もし、自分が「4-H」にはいることができたとしたら何を選びますか。以下の表は実際の「4-H」申込書です。この中から選択して申込用紙に記入しましょう。

4-Hに参加されるみなさんへ

4-Hへのみなさんの参加を心より歓迎します。4-HとはHead(頭)Hand(手)Heart(心)Health(健康)を意味し、9歳から19歳までのみなさんを対象にしたプログラムです。このプログラムは「活動することによっていろいろなことを学んでいこう」というものでさまざまなクラブ活動や興味深い活動が含まれています。それでは、まず、あなたのやってみたいプログラムを選んでみましょう。きっと多くの新しいことが発見でき、あなたの限りない力を伸ばすことができるでしょう。プログラムのなかには友人と共に学んでいくものもあれば一人で活動しなければならないものもあります。

1 発見コース

- 犬と猫について
- 家族について
- 園芸について
- 動物について

2 市民としての権利と社会人教育コース

- 市民としての権利
 - 家族・近所・クラブや集団・地域
 - 伝統・政府・世界
- 地域社会の発展
- 国際理解教育

3 人間関係づくりと表現技能コース

- 人間関係づくり
- 手芸
- 演劇
- 写真撮影
- スピーチ

4 消費者と生活科学コース

- 子どもの世話や子守
- 衣服と布地
- 人類の進化

5 環境教育と科学コース

6 健康・安全教育コース

- 自転車の交通安全
- 健康
- パンとシリアル
- 電子レンジ
- 乳製品
- 安全
- 食物管理
- 食物と栄養
- 健康とレジャー

7 個性の伸長とリーダーシップコース

- 職業
- 創造工芸
- リーダーシップ
- 木工技術

8 植物と動物コース

- 園芸
- うさぎ
- 造園
- 羊
- 植物と土壤
- 豚
- 牛
- 家畜の病気治療
- 猫
- 犬の世話と訓練
- 馬
- 家禽（鶏・アヒル・ガチョウなど）

9 科学・技術コース

- 航空宇宙
- 海洋科学

- アーチェリー
- 野外活動について
- 昆虫学について
- 林学について
- 野生動物について
(ウズラ・リス・ウサギ等)

- 自動車
- エンジン
- コンピュータ
- トラクター
- 電気
- 食物科学

このプログラムの中にはグループに所属し友人と共に学びあっていくものもあれば、一人で活動するものもあります。あなたのテーマについて多くのことを学んでいる友人に常に尋ねるようにしましょう。共に学んでいきましょう。

4-H申込書

日付	1994年	月	日
氏名			
年齢	歳		
住所	〒()		
生年月日	年	月	日
電話			
両親(親)OR保護者名			
やりたいプログラム			

5 アメリカでは「4-H」の他にもいろいろな活動に参加できます。それを少し紹介しましょう。この写真を見てください。これらは放課後自由に参加できるものです。

ボーイズアンドガールズクラブ(ロッキーマウント)



正面



お話をされるボランティア

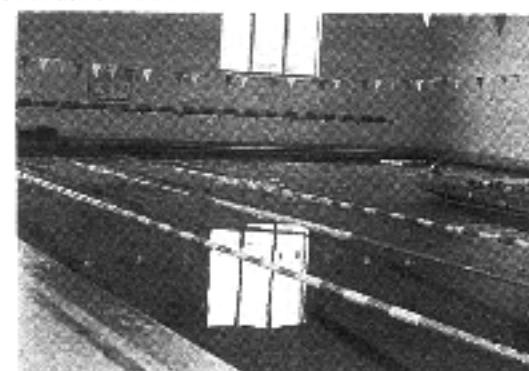


参加している子どもたち

YMCA(ロッキーマウントファミリー)



正面



プール



ジム(体育館)

それでは、それぞれを簡単に説明しましょう。

ボーイズアンドガールズクラブ

学校とは別の場所にあり少額の負担で参加できます。学校の放課後や長期休暇中において家庭で自分たちだけで過ごさねばならない児童・生徒が参加しています。勉強をしたり、スポーツやゲームをしたり、ボランティアの人たちの世話を聞いたりしています。運営は地元のボランティアや企業が行っています。

YMCA

YMCAはもともとキリスト教の団体からスタートしていますがいろいろな活動があります。学校へ講師を派遣して宿題・手芸・遊びなどを行う場合やYMCAの施設を使って活動する場合があります。YMCAで行っているプログラムも種類が豊富にあります。メンバーはいろいろなカリキュラムを安く利用できます。活動の時間は放課後です。夜もあります。

- 6 それでは日本の中学生は放課後どんな生活をしているのでしょうか。自分の日課表と大輔君や智子さんの日課表とを比べてどんな特徴があるのか、書きましょう。

大輔君

15:00

授業

16:00

授業（清掃・HRを含む）

17:00

合唱コンクール（学級練習）

18:00

パートリーダー会（合唱コンクール）

19:00

帰宅（徒歩）

20:00

食事・その他

21:00

ピアノ練習

22:00

塾での勉強

23:00

塾での勉強

寝る（24:00）

塾での勉強

特徴・気づき

智子さん

15:00

授業

16:00

授業（清掃・HRを含む）

17:00

部活

18:00

部活

19:00

部活 下校（徒歩）

20:00

遊ぶ（ぼっことする）

21:00

遊ぶ・夕食の手伝い

22:00

食事・その他

23:00

テレビを見る

寝る（23:30）

テレビを見る

宿題

宿題

テレビを見る

テレビを見る

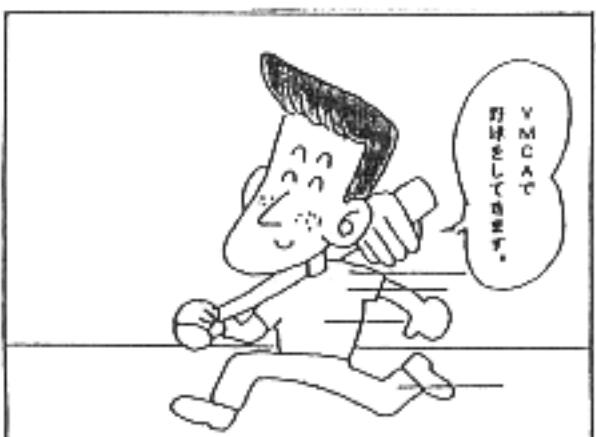
読書

読書

ラジオを聞く

7 日本とアメリカの中学生の放課後の生活をこれまで比べてきました。日本とアメリカでは今までのあなたたちの考え方の中には今日学習してきたこととはずいぶん違うと思つてきたことがあったと思います。また、同じことがあることにも気づいたと思います。どうして日本とアメリカではこのようになっているのでしょうか。次にあるのはアメリカと日本の母親と子どもの会話のイラストです。これを参考にしながら、聞いに答え、まとめましょう。

アメリカの場合



日本の場合

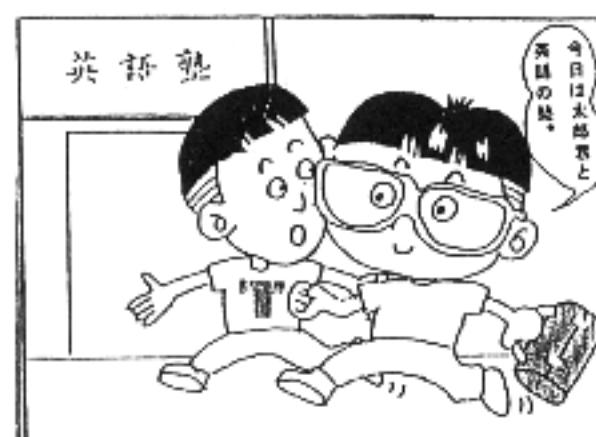
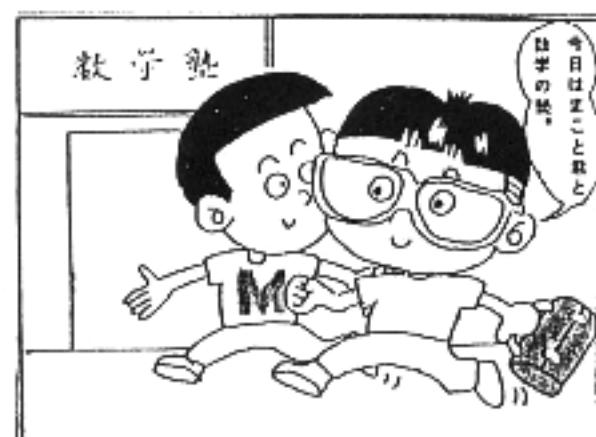


イラスト 鎌本芳明作

アメリカと日本で、それぞれの人々が大切にしたいと考えていることはどんなことでしょうか。書いてみましょう。またその反面、心配に思っていることはどんなことでしょうか。考えて書いてみましょう。

	大切にしていること、したいこと	心配なこと、考えなければいけないこと
ア メ リ カ		
日 本		

今日の授業の感想を書きましょう。（疑問に思ったことよくわからなかつたことなども）

参考資料

部活動 …… 放課後の部活動は生徒の自主参加である。（広島市立井口台中学校の場合）

1 場所……学校の施設（グランド・体育館・教室）

2 種類……奉仕部 吹奏楽部・放送部・図書部
文化部 茶道部・美術部・演劇部・科学部・家庭科部
体育部 野球部・陸上部・水泳部・卓球部・男子バレー・ボール部・
女子バレー・ボール部・男子バスケットボール部・女子バスケッ
トボール部・テニス部・ソフトテニス部・サッカーボール部・
バドミントン部・心身統一合氣剣道部

3 時間

	活動終了時刻	下校時刻	延長終了時刻	延長終了時刻
3月～10月	17：15	17：30	18：15	18：30
11月～2月	17：00	17：15		
土曜日など	17：00	17：15		
早朝活動	開始時刻 7：40		終了時刻 8：15	

10月は活動の延長はできない。

部活動によっては日曜日・祝祭日に活動がある場合もある。

4 その他

- ・関心、興味により希望する部を自由に選択し入部することができるが、原則として3年間同じ活動をする。
- ・各部は毎年1学期はじめに部員を募集し、部員名簿を作成し、部長、副部長を選出する。
- ・途中の退部、入部は保護者・担任・部活動顧問の承認を得る。

中学生の生活の調査より (中学2年生 252名回答) 1994年10月実施

学習塾に行っていますか	はい	59.6%	学習塾の教科の種類 国語・数学・英語が多い。 ※複数回答
	家庭教師	7.2%	
	いいえ	34.1%	

学習塾以外の習い事をしていますか	はい	32.6%
	いいえ	67.4%

習い事の種類

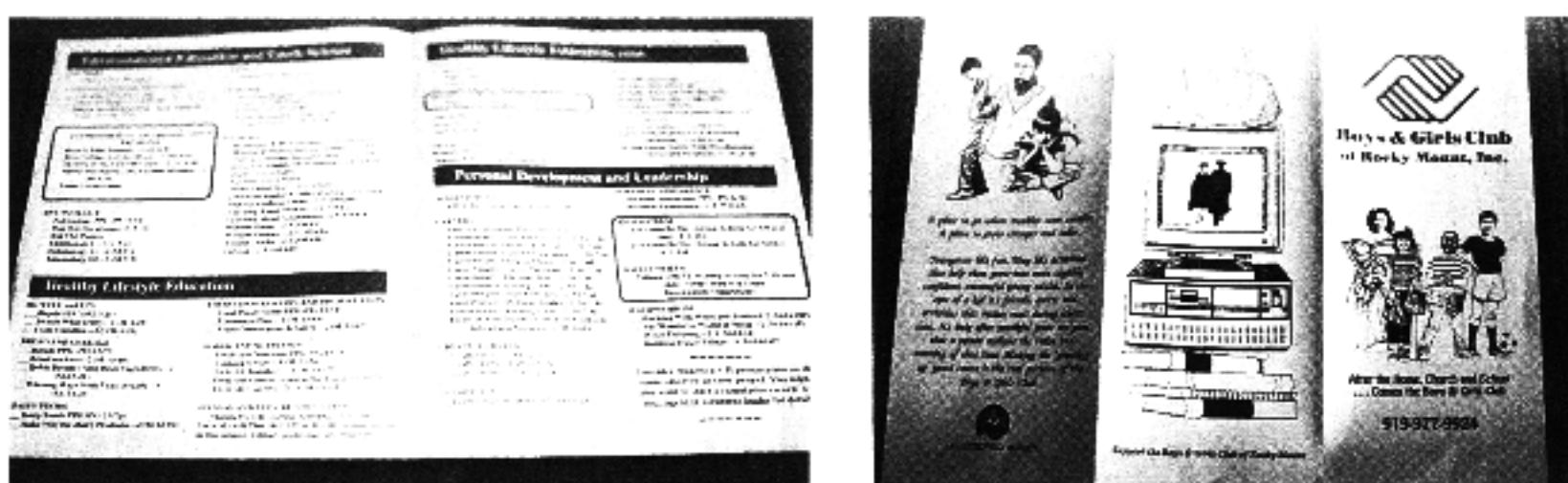
ピアノ・習字・そろばん・
楽器の演奏

寝る時刻は何時台ですか	9時台	2.1%
	10時台	13.3%
	11時台	50.6%
	12時台	29.5%
	1時以降	4.5%

平均して睡眠時間はどれくらいですか	5時間	4.6%
	6時間	19.7%
	7時間	46.2%
	8時間	26.1%
	9時間	3.4%
	10時間	0

4-Hの申込書

ボーイズアンドガールズクラブ案内書



アメリカ合衆国ノースカロライナ州 ロッキーマウント市のもの

授業後のまとめ（授業の中で生徒が記入したものをまとめました。授業をされる場合の参考にしてください。）

	大切にしていること、したいこと	心配なこと、考えなければいけないこと
ア メ リ カ	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のことは自分です。 ・視野が広い感じがして自分の好奇心がわき、何にでも挑戦する国だと思う。 ・いろいろなことに挑戦して可能性を伸ばすことができていいと思う。 ・いろいろな活動の場があってうらやましい。 ・仲間との交流や自主性を大切にしている。 ・自分のやりたいことを選択し、またそれを学んで活かして自立する。 ・友達との交流を大切にしている。 ・個人の自由を大切にしている。YMCAや4-H等いろいろな施設がある。 ・自分のしたいことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強のこと。 ・あまりにも自由すぎるのでないか。 ・いろいろな活動をしていて勉強がおろそかになっていくこと。 ・家に帰って自主的に勉強をやるしかない。 ・勉強が遅れないかなという心配。 ・自分の好きなことばかりして他の大切なことを忘れそうになること。
日 本	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強をすること。 ・勉強だけを大切にしている。 ・自分若しくは親のための勉強。 ・勉強ができること。 ・中学生になったら勉強をよくやって将来のためにがんばる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の進路のこと。 ・日本では一つのことに集中しすぎて経験する機会が少なく、塾ばかり行って外で遊ばなくなっている。 ・遊ぶ時間がない。 ・自分の将来のことを考えずに塾ばかり行っていること。自分のためになつているかを考えていないこと。 ・勉強ばかりで自分のやりたいことをつかめない。 ・強制的に塾に行かされているので自分の将来がよくわからない。 ・自分の本当にやりたいことを見つけるうこと。 ・言われたから勉強するのではなく自分がやる気で勉強すること。 ・自分が何をしたいのか自分で判断できないこと。

授業後の生徒の感想

- ・思っていたより、日本もアメリカの生徒も同じような生活をしていてちょっとびっくりしました。4-H等いろいろな活動が自由にできそうなところがうらやましいです。勉強も大事だし、アメリカの方もいろいろと問題があるだろうけど日本でももっと自由に活動することができるといいなと思いました。
- ・日本とアメリカは全く違っていた。日本もアメリカのような活動があればいい。クラブ活動もやるもののが決まっている日本に比べてアメリカは自由。いろいろな活動ができるのでうらやましいと思った。
- ・日本では自分のやりたいことをする時間が少ないように思います。アメリカでは自分のやりたいことを積極的に行い、何時間も勉強する人はいないようです。日本の子どもたちの多くは塾などに行って自分の時間が少ないので、やりたいことをしっかりできる時間を多くつくれたらいいと思います。
- ・アメリカの子どもたちの生活を見ていると「私たちには自分のことができる時間が少ないなあ」と思った。
- ・アメリカも日本もそれぞれいいところも悪いところもあった。でも日本は勉強勉強と何でも勉強を優先しすぎだと思う。将来のためといつてもそれは本当なのかと考えてしまう。将来のためならば、アメリカのようにもっと自然に親しむようにすればいいのにと思う。
- ・学校が早く終わるのがうらやましい。アメリカの子どもたちは睡眠不足になったことがないように思えてきます。クラブ活動も日本のように大会出場をメインにしていないのかなあ。シーズン制はうらやましいと思います。その他4-H、YMCA、コーラスなどなど日本にはないものがあり、アメリカに住みたくなってしまいます。一番いいのがスクールバスかな。制服のない学校がほとんどみたいだし、校則という校則がなさそうだし。アメリカらしいと思います。
- ・私はアメリカの子どもたちは結構遅くまで起きていると思っていたのに10時にこんなに早くに寝るなんて思ってもいませんでした。
- ・アメリカのYMCAや4-Hというのはとてもよいと思った。
- ・アメリカとの生活の違いがよくわかった。やっぱりアメリカは先進国の中の先進国なので日本とはかなり違っていた。塾は自主的に行きたくて行ってないとあまり身に付かないのではと思う。アメリカの人は塾にあまり行っていないのかな。
- ・アメリカと日本の中学生は同じところも結構あれば違うところも結構あるということがわかった。アメリカのような生活もしてみたいと思った。
- ・そろそろ将来のことを見て行く必要があるけれど、やっぱり今はアメリカのようにいろいろな活動に参加して自分にあったことを探していくことが大切だと思った。4-Hみたいのがあればぼくは参加したい。日本はYMCAぐらいしかないし、これほどたくさんプログラムがあるのは日本にはないのでとてもうらやましく思う。